

第64回 D-Wind Rally 『上州史跡巡り』 問題の答えと解説

2016/5/8

距離(km)		問題	正解率
スタート～1CP	11.96	問題A 相撲辻(日本三辻も正解)	86%
1CP～2CP	8.00	問題B 22番	95%
2CP～3CP	12.27	問題C 被葬者の名や葬送制度が推定できる	90%
3CP～4CP	9.30	問題D 碓氷の山	95%
4CP～5CP	8.89	問題E 鋤、もっこ、修羅(木ぞり)	100%
5CP～6CP	2.97	問題F 富士山	71%
6CP～7CP	3.63	問題G 蓋石	100%
7CP～8CP	6.69	問題H 8つ	95%
8CP～9CP	16.08	問題I サイ、サル、ウシ、(大)ムカデ、(大)蛇	24%
9CP～10CP	8.87	問題J 赤城火山	100%
10CP～FCP	8.29	問題K 土橋	100%
		問題L カスリン台風水害の10周年記念	100%
	96.95	問題M 195m	86%
		問題N 10.0平方メートル	95%
		問題O 13体	38%
		問題P 18体	76%
		問題X-1 7回	100%
		問題X-2 48図	100%
		問題X-3 山上城由来の石碑の上	81%
		問題X-4 肉の駅	100%
		問題X-5 たまご	100%
		問題X-6 橋の親柱	100%
		問題X-7 山上古墳	95%
		ボーナス 8CP大胡城址の近く、36図の再スタート後、左折せずそのまま直進した先にある根古屋橋の前の親柱。住所は、前橋市大胡町。	76%

	<p>【解説】 コース 古墳、城址ばかり、それもマイナーな場所が多くて、うんざりされたでしょうか？ それとも意外と楽しんで頂けたでしょうか？ 道の方は、40図先以外は市街地がメインで、チョット物足らなかったでしょうか？</p>
	<p>【解説】 距離 市街地、平坦な道が大部分だったので、皆さん距離が合っていました。流石に距離減点0はいらっしゃいませんでしたが、減点1、減点2が各1チームおられ、約半数の10チームが減点5以下でした。</p>
	<p>【解説】 クイズ 全問正解が2チームいらっしゃいました。埴輪数え問題が意外と難しかった様です。ゴールのクイズだったので、皆さん歩き疲れておられたかな？(笑)</p>
A	<p>スタートの観光物産館で、藤岡市の姉妹都市だけ確認してもらい、答えはODで見つけてもらう設定でしたが、</p>
B	<p>観光物産館の開館時間(平日9:30、休日9:00)を作成者の私が確認していませんでした。申し訳ないです。ただ、スタートで姉妹都市を確認出来なくても、ODの展示パネルから答えは判ったと思います。「土師の辻」にある『相撲辻』が縁で姉妹都市になった様です。「土師の辻」は、『藤岡市の文化財案内』では22番で紹介されていました。問題文が、『紹介パネルがある市(羽咋市)と藤岡市の両方にあり、姉妹都市になるきっかけになったものは何か?』ですので、『土師の辻』や『土師神社』は不正解です。</p>
C	<p>これは古墳の説明文を確認して頂ければ、簡単でしたね。</p>

D	どこの山？で迷われた方もおられる様ですが、素直に「碓氷の山」が正解です。
E	どれか見落としてくれないかな？と思って問題にしましたが…。皆さん正解でした。
F	社額の文字がチョット読み取りにくい字体で、尚且つ下の方が欠けていました。で、多分皆さんすぐ側にあった説明看板に神社の名前が書かれていないか確認されるだろうと想定して問題にしました。説明看板には、富士山古墳にある神社なのに何故か、「富士神社」と書かれていました。明らかに誤植ですね。社額の欠けている部分にも「山」の上の部分が残っていました。
G	チョット読みづらかったですが、石棺展示室に貼ってあった説明パンフレットに答えがありました。
H	大室公園も何度もCPを置いているのですが、まだまだクイズネタがあって助かります。説明板で『鞆(ゆき)』の埴輪の形を確認してから数えてもらう必要がありましたが、答えは簡単だったと思います。
I	三の丸跡広場の周囲に、サイ、サル、ウシの石像がありました。でも、もう2つ忘れていませんか？ X問題のX-3は見つけられましたよね？ これも石像ですよ？
J	これは問題なかったと思います。
K	これも問題なかったと思います。
L	これも問題なかったと思います。 作成者としては、この石碑が水害の10周年記念して立てられたことを正解と想定していましたが、問題文が不適切でしたので、10周年が無い答えも正解としました。
M	削り取った高さを問題にした方が面白かったかもしれませんね。 正解は195mですが、厳密に言うと195m 以上 を削り取ったので、ここの標高は195m未満と言う事でしょうね。
N	石室の前にあった説明の石碑に、玄室長=3.3m、同奥幅=3.02mとありましたので、単純に計算して頂ければ良かったです。 $3.3 \times 3.02 = 9.97$ 小数点以下2桁目を四捨五入すると10.0㎡となります。
O	単純に「？」が付く説明の埴輪の数を足していくと、16体になりますが、その内、『11~16 水鳥(前3体は大型か?)』が要注意でした。水鳥の埴輪は6体あるのは間違いないのですが、その内3体だけが「大型か？」と言う事ですから、3体だけが説明がやや不確実なものになります。よって、13体が正解です。
P	古墳の全周に無く、かたまってありましたが、結局は古墳を1周してもらう必要がありました。お疲れ様でした(笑) 判断に迷う埴輪はなかったと思います。間違えられた方は、1つ多いか少ない間違いでした。
	X問題のキーワードは、『埴輪(haniwa)』でした。
X-1	JR高崎線、両毛線を各1回、上信電鉄を2回、上毛電鉄を3回の計7回踏み切りを渡りました。
X-2	X-1と鉄道つながりでX問題にしました。意外な場所にあったでしょう？
X-3	よく見れば、問題Iの写真に写っています。これ自体は簡単に見つかったと思います。これも問題Iの答えだとのヒントになった方、X問題を先に見つけて、この意識がなくなった方、色々でしょうね。作成者としては、後者を狙ったのですが(笑)
X-4	これは簡単でした。最近、〇〇の駅というのが増えてきましたね。
X-5	これは、意外と見つけにくかったかも知れませんね。ただ、写真をよく見ればたまごがシルエットで写っているのですが…。コース案内を読んで頂いていた方、後閑養鶏場でお土産を買おうと考えていた方はすぐに判ったかな…？
X-6	8CPで距離をチェックして駐車スペースに移動する際に正面に見えましたから見つけるのは簡単でしたね。また、橋の名前も書かれてありましたから答えも簡単でした。
X-7	問題Dを確認している際に見えたと思います。

ボーナス点1点なのに、ほとんどの方が調べて頂いたようです。ありがとうございます。
皆さんが答えられていた、8CP近くの根古屋橋の以前の親柱で間違いないですね。
ただ、一部の方が大洞までの距離(15.9km)が合わないと書かれていましたが、私もここが引っかかっていました。橋ができた昭和12年当時は、滝沢温泉や赤城温泉(当時は湯之沢温泉)までの道はあったでしょうが、まだその先赤城の上までの道(現在の県道16号線)はなかったと思います。県道4号線も当時は途中の箕輪の村落辺りまでしか車が通れる道はなかったと思います。そのため赤城の東麓からケーブルカーを通したりした訳で…。現在の県道4号線が有料道路の赤城南面道路として開通したのは、昭和41年ですし…。『赤城大洞』は赤城山山頂の大沼辺りではなく、別の場所なのかも知れませんね…。この件については、継続調査!(笑)今回こんなページを見つけました→ <http://ktgis.net/kimapw/index.html>
車も余り通らない当時としては、立派な親柱で、立派な橋だったのかもしれませんが。ちなみに、現在の根古屋橋の親柱はこんなに立派ではなく質素なものです。竣工が昭和42年になっているので、カスリン台風で流されてから約20年は仮の橋だったのかな…?
下の航空写真は、カスリン台風の後、昭和22年10月に撮られたものです。赤囲み部分が根古屋橋で、青囲み部分が大川橋です。航空写真では、大川橋が架かっている道ははっきり見えますが、根古屋橋が架かる川沿いの道は、洪水で流されたのか、はっきり確認できませんね。

ボ
ー
ナ
ス

